



2021年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月2日

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 コード番号 3035 URL <https://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年4月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 青山 英生
 (氏名) 武井 修
 TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年8月21日～2021年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	8,393	0.1	253	29.5	276	27.6	201	32.6
2020年8月期第2四半期	8,388	2.4	195	11.5	216	8.8	151	13.5

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 185百万円 (20.4%) 2020年8月期第2四半期 233百万円 (192.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	37.50	
2020年8月期第2四半期	26.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	8,405	3,251	38.7
2020年8月期	8,447	3,124	37.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 3,251百万円 2020年8月期 3,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		0.00		11.00	11.00
2021年8月期		0.00			
2021年8月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年8月21日～2021年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	0.9	330	3.9	352	2.3	246	5.3	45.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期2Q	5,725,000 株	2020年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	2021年8月期2Q	357,886 株	2020年8月期	357,886 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期2Q	5,367,114 株	2020年8月期2Q	5,722,134 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年8月21日～2021年2月20日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況で推移しました。今後は、感染拡大の防止策を講じつつ社会の経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善により持ち直しの動きが期待されますが、一方で、金融資本市場の動向には十分注意する必要があります、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境において、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動に一部制約が出たことや、前年同四半期累計期間における消費税の引き上げやWindows10への切替え等の一時的な需要の反動による減少はあったものの、基盤事業であるリサイクルトナー等の出荷は堅調に推移しました。また、DXの推進で関心が高まるテレワークやWEB会議に対応するネットワーク機器・セキュリティ機器などのITソリューション商品・サービスの拡販(連結子会社の増加を含む)、並びに感染症対策で今後も需要が見込める消毒液や飛沫防止パネル等の環境・衛生商品の拡販により、前年同期並みの売上高を確保すると共に、利益については大幅に上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,393,394千円(前年同四半期比0.1%増)、営業利益は253,633千円(前年同四半期比29.5%増)、経常利益は276,350千円(前年同四半期比27.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は201,283千円(前年同四半期比32.6%増)となりました。

なお、連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

また、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ42,503千円減少し、8,405,265千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12,393千円減少し、5,637,757千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が362,078千円増加し、現金及び預金が395,003千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ30,110千円減少し、2,767,508千円となりました。これは、グループ会社において投資有価証券を売却したこと等により、投資その他の資産が35,632千円減少したこと等によります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ85,967千円減少し、4,619,280千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が224,920千円増加し、電子記録債務が269,793千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ83,169千円減少し、534,592千円となりました。これは、主に長期借入金が90,520千円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ126,632千円増加し、3,251,392千円となりました。これは、利益剰余金が142,244千円増加し、その他有価証券評価差額金が15,612千円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ384,907千円減少し、1,965,441千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、260,027千円(前年同四半期は136,508千円の使用)となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益300,065千円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額362,042千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、30,980千円(前年同四半期は10,376千円の使用)となりました。収入の主な要因は、投資有価証券の売却による収入40,400千円であり、支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出53,980千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、93,898千円(前年同四半期は18,312千円の獲得)となりました。収入の主な要因は、短期借入金の純増額100,000千円であり、支出の主な要因は、長期借入金の返済による支出134,991千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月2日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは、2021年3月29日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,715,282	2,320,279
受取手形及び売掛金	2,352,859	2,714,938
商品及び製品	460,136	469,323
仕掛品	247	418
原材料及び貯蔵品	77,722	78,452
その他	51,854	55,982
貸倒引当金	△7,952	△1,635
流動資産合計	5,650,151	5,637,757
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,150,441	1,150,441
その他(純額)	531,699	534,124
有形固定資産合計	1,682,140	1,684,566
無形固定資産		
のれん	68,355	65,507
その他	30,736	36,680
無形固定資産合計	99,091	102,187
投資その他の資産		
その他	1,049,890	1,014,177
貸倒引当金	△33,504	△33,423
投資その他の資産合計	1,016,386	980,754
固定資産合計	2,797,618	2,767,508
資産合計	8,447,769	8,405,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,450,004	1,674,925
電子記録債務	1,580,938	1,311,144
短期借入金	1,073,239	1,128,768
未払法人税等	85,247	92,859
賞与引当金	98,430	78,245
役員賞与引当金	15,850	—
その他	401,537	333,338
流動負債合計	4,705,247	4,619,280
固定負債		
長期借入金	248,942	158,422
役員退職慰労引当金	57,420	64,772
退職給付に係る負債	123,944	128,859
その他	187,455	182,538
固定負債合計	617,761	534,592
負債合計	5,323,009	5,153,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	663,325	663,325
利益剰余金	2,177,628	2,319,873
自己株式	△131,932	△131,932
株主資本合計	3,003,696	3,145,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,063	105,451
その他の包括利益累計額合計	121,063	105,451
純資産合計	3,124,759	3,251,392
負債純資産合計	8,447,769	8,405,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年8月21日 至2020年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年8月21日 至2021年2月20日)
売上高	8,388,035	8,393,394
売上原価	6,656,206	6,575,068
売上総利益	1,731,829	1,818,326
販売費及び一般管理費	1,535,981	1,564,693
営業利益	195,848	253,633
営業外収益		
受取利息	447	156
受取配当金	13,645	10,863
仕入割引	17,789	17,928
受取家賃	21,886	23,548
その他	7,803	6,695
営業外収益合計	61,573	59,192
営業外費用		
支払利息	3,670	2,840
売上割引	33,688	31,053
その他	3,540	2,581
営業外費用合計	40,900	36,475
経常利益	216,521	276,350
特別利益		
保険解約益	—	2,504
投資有価証券売却益	10,676	21,211
特別利益合計	10,676	23,715
税金等調整前四半期純利益	227,197	300,065
法人税、住民税及び事業税	66,587	88,766
法人税等調整額	8,783	10,016
法人税等合計	75,370	98,782
四半期純利益	151,827	201,283
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,827	201,283

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月21日 至 2020年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月21日 至 2021年2月20日)
四半期純利益	151,827	201,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,349	△15,612
その他の包括利益合計	81,349	△15,612
四半期包括利益	233,177	185,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,177	185,670
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月21日 至 2020年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月21日 至 2021年2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	227,197	300,065
減価償却費	30,406	35,945
のれん償却額	2,848	2,848
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,864	△6,398
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△17,488	7,352
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,850	△15,850
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,501	△20,185
受取利息及び受取配当金	△14,093	△11,020
支払利息	3,670	2,840
保険解約損益 (△は益)	—	△2,504
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,676	△21,211
売上債権の増減額 (△は増加)	△249,154	△362,042
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,417	△10,086
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,740	△44,873
その他	△45,307	△50,347
小計	△84,403	△195,465
利息及び配当金の受取額	14,093	11,020
利息の支払額	△3,624	△2,881
法人税等の支払額	△62,573	△72,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,508	△260,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,905	△7,904
定期預金の払戻による収入	18,000	18,000
有形固定資産の取得による支出	△25,509	△53,980
無形固定資産の取得による支出	△10,576	△11,389
投資有価証券の取得による支出	△7,225	△8,043
投資有価証券の売却による収入	10,865	40,400
差入保証金の差入による支出	△13,780	△15,984
差入保証金の回収による収入	3,507	4,581
保険積立金の積立による支出	△5,545	△3,166
保険積立金の解約による収入	24,033	10,216
長期前払費用の取得による支出	△1,889	△1,901
その他	7,647	△1,806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,376	△30,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	100,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△167,190	△134,991
リース債務の返済による支出	△1,643	—
配当金の支払額	△62,844	△58,907
その他	△9	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,312	△93,898
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△128,572	△384,907
現金及び現金同等物の期首残高	1,767,019	2,350,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,638,446	1,965,441

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

《簡便的な会計処理》

① たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③ 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。